

2013年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	建築・デザイン学科							
科目名	建築設備の基礎							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース、建築コース)／選択必修科目(デザインコース)							
担当者	齋藤健二							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。(A5) ・建築設備工学の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。(B3) ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。(B3) ・基礎的な設備設計の計算ができる。(B3) 							
日程と内容	4/8 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/15 建築設備の役割、地球温暖化防止について、エネルギー需要の推移、温室効果ガスの特徴 4/22 給排水衛生設備の概要、用途別給水量、器具の必要圧力、給水方式 4/29 各種給水方式、上水の汚染防止、給水量の算定 5/13 給水負荷単位、流量線図、動水勾配 5/20 衛生器具、給湯設備の概要 5/27 演習1、排水通気設備の概要 6/3 排水負荷単位、排水管径の求め方 6/10 ガス設備、都市ガス、LPガス設備 6/17 防災設備、屋内消火栓、スプリンクラー設備 6/24 空気調和の概要 7/1 空気調和の方式、単一ダクト方式、変風量方式 7/ 8 空気線図の使い方、湿度の表し方 7/15 冷暖房負荷計算の概要、演習2、授業評価アンケート 7/22 定期試験(60分) 7/29 定期試験の解説							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。:達成した。 ・建築設備工学の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。:達成した。 ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。:達成した。 ・基礎的な設備設計の計算ができる。:達成した。 							
反省点	今年度は定期試験の難易度を少し下げた結果、合格率及び合格平均点が向上したが、それが授業評価の向上に結び付いていない点を反省したい。							
来年度の計画	来年度は非常勤講師として授業を実施する予定であるが、小テストを行うなど理解の向上に努めたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	分かりやすい授業を心がけているがなかなか授業評価の向上に結び付いていない。質問時間を設けても全然質問が出ないのが現状である。予習、復習をほとんどしないなど、学生自身の勉学態度も改めてほしい。							
履修登録者数	73名	定期試験受験者数	72名	合格者数	67名	合格率	93%	